

平成 24 年 2 月 14 日

危機管理・広報課

広報担当 久保

内線 1175 直通 0952-25-7219

e-mail:kiki-kouhou@pref.saga.lg.jp

佐賀県出身トップクリエイターによる県プロモーションDVDを制作しました ～ 『THREE MINUTE TRIP TO SAGA』 ～

県では、佐賀県が持つ可能性や魅力を国内外にアピールするために、プロモーションDVDを新しく制作しました。キーコンセプトは、“Avant-garde Country Side (アバンギャルド・カントリーサイド／挑戦する田舎)”。

前例や固定観念にとらわれることなく、斬新な発想で活躍してきた佐賀県の先人たちの“アバンギャルド”な精神性を引き継ぎ、これからも常に“挑戦していく”地域であるというメッセージが込められています。それを体現するこのDVDも、まさに“型破り”。美しいけれどリアル感に欠ける絵葉書的映像や、環境音楽的BGMといったこれまでの自治体PRビデオの定番を破ることにあえて挑戦し、厳選した映像とインパクトのある音楽、デザインセンスを活かした演出で、小さくてもキラリと光る佐賀の本質を訴求しました。

また、制作スタッフのほとんどを、佐賀県出身のトップクリエイターで固め、新たな切り口による佐賀県への“思い”や“愛情”を表現しました。

デザインには、「佐賀錦」や「伊万里・有田焼」等の伝統工芸に用いられる繊細な紋様やパターンを取り入れ、ビジネスシーンで使用するブローシャフォルダも統一したイメージコンセプトで新たに作成しています。

これまで、中国・香港や上海、韓国の全羅南道においてDVDの先行試写を行ってきましたが、本日(2月14日)、佐賀県ホームページやYouTubeでの掲載を開始するとともに、国内外でのコンベンションやレセプション等において積極的に活用していきます。

県民の皆さまも、県出身のトップクリエイターたちが作ったこの作品をぜひご覧ください。

1 佐賀県プロモーションDVD 『THREE MINUTE TRIP TO SAGA』について

(1) コンセプト

「Avant-garde Country Side」

～アバンギャルドな田舎、挑戦する田舎～

(佐賀らしく、ユニークで高品質だが、自然もあり、先進性もある佐賀を表現)



(2) 構成

見る人を「飽きさせない、退屈させない、面白がらせる」ことを主眼に、本編とメモ編の2部構成。

本編では、佐賀県の魅力を伝える映像シーンを多数挿入しながら、音楽と映像で佐賀県の魅力を訴求。続く後半のメモ編では、厳選した佐賀県が誇る特産品、観光地等をエピソードも交えながら説明。

音楽は、ライブ活動を中心に、映画音楽の制作（映画『少年メリケンサック』で第33回日本アカデミー賞優秀音楽賞受賞）など幅広く活躍するみやき町出身のミュージシャン、向井秀徳^{むかいしゅうとく}氏のオリジナル曲。

『THREE MINUTE TRIP TO SAGA』

本編 3分22秒

メモ編 3分08秒（全編約6分30秒）

(3) 初版プレス部数及び言語

800枚、後半のメモ編は4か国語5言語展開

（日本語、英語、韓国語、中国語（簡体字・繁体字））

2 DVDパッケージ、ブローシャフォルダについて

(1) デザインコンセプト

「佐賀の風景と誇り高い技術の交差」

直線的に広がる平坦な佐賀平野からつながる空の風景が生み出す自然のグラデーション。

そして、佐賀の伝統芸術「伊万里・有田焼」や「佐賀錦」等の繊細な模様に着想しました。

また、時代を感じさせないニュートラルな色の組合せにシルバーを加えることで“斬新さ”を引き出しました。

(2) 仕様など

DVDパッケージには、収録した映像素材をタイムラインで紹介した他、「佐賀県のNo.1」など、会話のきっかけを生むような仕掛けも取り入れています。

また、同じコンセプトでブローシャフォルダを作成することにより、トータルイメージで佐賀の魅力を訴求しています。



3 制作スタッフ

コピー、CMなどで、国内外の広告、デザイン賞を多数受賞し、「東京モーターショー2011」のコミュニケーションディレクター、「Japan APEC 2010」の総合プロデューサーも務めた倉成英俊氏をクリエイティブディレクターに

起用し、主に佐賀県出身の才能を束ねたチームを結成。

- ◇ クリエイティブディレクター／倉成 英俊氏（佐賀市出身）
- ◇ 音楽／向井 秀徳氏（みやき町出身）
- ◇ プロデューサー／松隈 善弘氏（鳥栖市出身）
- ◇ モーショングラフィックス／小島 淳二氏（武雄市出身）
- ◇ アートディレクター／カンナ アキコ氏（吉野ヶ里町出身）
- ◇ 撮影／山田 トモフミ氏（唐津市出身）



クリエイティブディレクター 倉成英俊氏
「このムービーで、佐賀のこと、どんどん世界に売り込んでください！」



音楽 向井秀徳氏
「昔、みやき町の田んぼの真ん中にある実家で、一人毎日ギターを弾き曲を作っていた頃を思い出しながら制作しました」

4 主な活用方法について

- ・ 瀋陽代表事務所、香港代表事務所、上海デスクにおける県産品の輸出促進、企業の海外展開における佐賀県のプロモーション
- ・ 国内外で開催される各種観光展、物産展での各種プロモーション
- ・ 有明佐賀空港の大型ビジョンでの放映
- ・ 海外姉妹都市等での友好交流における佐賀県紹介 など

※映像はホームページでもご覧いただけます。

- ・ 県ホームページ > Web 放送局
<http://www.pref.saga.lg.jp/web/movie.html>
- ・ YouTube（アカウント名：SagaKouhouMovie）
<http://www.youtube.com/user/SagaKouhouMovie>

STAFF PROFILE & MESSAGE

クリエイティブディレクター / 倉成英俊 (クラナリ ヒデトシ)



(profile)

1975 年生まれ、佐賀市出身。(株)電通 ビジネスデザインラボ所属
主な仕事に、Japan Apec 2010 総合プロデューサー、TOKYO MOTOR
SHOW2011 コミュニケーションディレクター、東京ガスやラフォー
レ原宿などのCMプランニング、紙飛行機のカタチで郵送できる
ポストカード flying card のプロダクトデザインなど。
カンヌ広告賞、NYADC賞、グッドデザイン賞、キッズデザイ
ン賞ほか多数受賞。

(message)

県の現場の方々にインタビューして出てきたキーワードは、
“スイス”でした。スイスっぽいムービーが欲しい、ということ
ではもちろんなく、スイスのように小さくてもユニークになりたい、という意味です。

そこで佐賀らしさをコンセプトにまとめ、制作を始めました。

(どんなコンセプトだったのかはまたどこかで)。

そして、スタッフは、ほとんど佐賀出身者。このムービーで、佐賀のこと、どんどん世
界に売り込んでください！

音楽 / 向井秀徳 (ムカイ シュウトク)

(profile)

1973 年生まれ、みやき町出身。

1995 年、NUMBER GIRL 結成。99 年、「透明少女」でメジャー・
デビュー。2002 年解散後、ZAZEN BOYS を結成。

自身の持つスタジオ「MATSURI STUDIO」を拠点に、国内外で
精力的にライブを行い、現在まで 4 枚のアルバムをリリース
している。

また、向井秀徳アコースティック&エレクトリックとしても活動中。

2009 年、映画『少年メリケンサック』の音楽制作を手がけ、第 33 回日本アカデミー賞優秀
音楽賞受賞。2010 年、LEO 今井と共に KIMONOS を結成。著書に『厚岸のおかず』

(message)

今回の楽曲について

「昔、みやき町の田んぼの真ん中にある実家で、

一人毎日ギターを弾き曲を作っていた頃を思い出しながら制作しました。」



プロデューサー / 松隈善弘 (マツグマ ヨシヒロ)

(profile)

1973年生まれ、鳥栖市出身。パドル株式会社所属。
TVCM・映像コンテンツをメインにプロデュース。
主な受賞歴は、ACC賞、カンヌ国際広告賞、ニューヨークフェスティバル、ロンドンインターナショナル、アジアパシフィック広告祭など。

(message)

地元佐賀県の仕事に関わる事が出来て大変光栄です。
御協力頂いた県民の方々、県職員の方々、我々スタッフの“佐賀愛”が
いくつもまじりあって完成した映像です。
この映像が佐賀の未来に役立ってくれることを心から願っております。



アートディレクター / カンナアキコ

(profile)

吉野ヶ里町出身。StudioKanna 代表。
1995年に渡英後、ロンドンのセントラルセントマーチンズにおいてグラフィックデザイン科修了。英国カルチャー雑誌「Dazed and Confused」のエディトリアルデザイナーを務めた後、CI (コーポレートアイデンティティ) で有名なデザイン会社 North に入社。2006年帰国し、StudioKanna 設立。イギリスで培ったブランディングの基礎をデザインのベースとして、既存のアイデアにとらわれない、シンプルで意味のあるアプローチを追求。

(message)

地元愛から生まれた自然なチームワークによって、
これまでにない達成感のあるプロジェクトになりました。
これからも、アバンギャルドな佐賀を応援していきます。

モーショングラフィックス / 小島淳二 (コジマ ジュンジ)

(profile)

武雄市出身。95年 teevee graphics 設立。CM、MV、ブロードキャストデザインなどジャンルを越えて多くの印象的な映像作品を輩出している。“机上の空論”で RESFEST2003 Audience Choice Award、スターフライヤー “就航記念篇” で’06年ACC賞ブロンズ、木村カエラ “Magic Music” で MVA07 BEST POP VIDEO を受賞。
ラーメンズの小林賢太郎氏と結成した映像ユニット “NAMIKIBASHI” として制作したオリジナルショートフィルムは海外でも高い評価を得ている。

(message)

このプロジェクトに関わって、
四季の変化に富んだ長閑な風景と伝統工芸、豊かな食文化など、
自慢できる部分がたくさんある県だと再認識しました。
このビデオをきっかけに、さらに人が集う活気のある県になって行くことを期待します。





撮 影 / 山田トモフミ(ヤマダ トモフミ)|

(profile)

1968 年生まれ、唐津市出身。1996 年 独立。2000 年 4 月 スタジオ hal 設立。福岡を拠点にカメラマンとして活動中。

主な仕事として、ビーボイス、ミュージシャングラビア撮影、博多大丸、天神コア、天神地下街、JR 西日本、チキータバナナ、ハウステンボス、BBIQ、アミュプラザ長崎等のポスター 他

(message)

自分の故郷の仕事ができて大変うれしく思います。

改めて佐賀を見直してみると、とてもいい街だなと思いました。

この魅力をもっと色々な所に伝えていきたいです。

ディレクター / 竹下公明 (タケシタ キミアキ)|

(profile)

1964 年生まれ、福岡県出身。

ビデオ・ステーション・キュー (VSQ) 所属

受賞歴: Times Asia-Pacific Advertising Award、New York Festival、Ad Spot Award、AD STARS、ACC、鈴木三郎助賞、他

(message)

佐賀をもっと伝えよう。という沢山のスタッフの想いが、終始途切れる事なく続いた素敵なプロジェクトでした。

これから、いろんな国でご覧頂き、更に海外からのお客様が来訪される事をお祈り申し上げます。ありがとうございました。



コピーライター / 鳥巢智行 (トリス トモユキ)

1983 年生まれ、長崎県出身。(株)電通 ビジネスデザインラボ所属

(message)

隣の長崎に生まれながら、吉野ヶ里遺跡に行ったことがある程度で、佐賀のことを全然知らなかった私も、ビデオ制作を通じて佐賀を知れば知るほど、佐賀のファンになっていきました。

人も、景色も、食事も、イベントも、文化も、

魅力的な場所で、もっと多くの人があることに気づくといいなと思いました。



アカウントエグゼクティブ / 藤吉祐輔 (フジヨシ ユウスケ)

1983 年生まれ、佐賀市出身。(株)電通所属。

(message)

出身地である「佐賀県」をどう PR していくか。

自分の出身地で、知っていることが多くても、

それは簡単なことではないとこのシゴトを通じて感じました。

これをきっかけに国内外、ビジネス・観光問わず、「佐賀県」に関心を持ってくれる方が一人でも増えてくれるといいなと思います。